

佐賀県立視覚障害者情報・交流センター
令和5年度 事業実績報告書

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日

令和5年度 佐賀県立視覚障害者情報・交流センター 事業実績報告書

1. 基本方針

昭和47年の開館以来、当センターは、県下唯一の視覚障害者の情報提供施設として、福祉・文化活動の拠点として重要な役割を果たしてきました。

開館以来の伝統を引き継ぐとともに、相談支援事業、交流イベント開催や啓発活動を積極的に行うなど新たな方向性をめざし、利用者である県下の視覚障害者に対するサービスの向上に努めてきました。

2. 利用者サービス

利用者から高い評価と信頼を受けている巡回貸出制度については、新規の利用者などもあり存続につとめました。施設のPRと交流を目的とした「あいさが あすなるフェスタ」を開催し、視覚障害者だけでなく事業者や一般の方々にも大勢参加していただきました。

利用者はもとより、視覚障害以外の理由による利用対象者や関係者からの相談も増加しており、就労や育児、余暇についてなど読書以外の相談にも対応したほか、スマートフォンなどのICTに関する相談にも多く対応しました。デジタル情報の入手活用手段は変化し続けており、その変化に対応できない方やアナログでの情報を必要とする利用者もいることを認識し、今後もサポートを継続していく必要があります。

3. 職員の資質

相談支援の専任職員を一名、貸出と情報支援に職員二名を配置し、多様な利用者のニーズに対応してきました。こうした職員の資質の向上を図るため、研修会等に積極的に参加してきました。更に、機器の情報や利用者からのニーズについて随時情報伝達・情報交換を行なう等、サービスの質の向上や課題解決に努めました。

4. 地域との関係

施設の周知及び啓発、利用者との交流を目的とした「あいさが あすなるフェスタ」を開催し、地域の方を含む延べ206名に会場していただきました。その他、公立図書館や特別支援学校からの見学の随時受け入れ、職場体験、要請に応じた点字器の貸し出しなどを行い、地域との関わりを積極的に持ってきました。

【業務の概要】

I. センターの運営に関する業務

1. 点字刊行物及び録音図書（CD図書）の製作及び刊行並びに受入

(1) 点訳図書・音訳図書の製作及び整備、受入れ

	点 訳 図 書	CD 図 書	MMD・TD
自館製作	87タイトル・279巻	57タイトル・枚	0タイトル・枚
厚生労働省委託	40タイトル・81巻	29タイトル・枚	15タイトル・枚
購入・寄贈	5タイトル・5巻	8タイトル・枚	0タイトル・枚
合 計	131タイトル・365巻	94タイトル・枚	15タイトル・枚

※MMD・TD…マルチメディアデイジー・テキストデイジー

(2) 「県民だより」等の音訳版製作（提案型事業）

- ① 県民だより：69部12回
- ② 県議会だより：69部4回
- ③ 障害者ハンドブック：200部

(3) 「JBニュース」点字版製作及び配信（提案型事業）

年間240回 毎回27部を製作・送付、毎回7ヶ所に配信

(4) 幼児向けの図書（触る絵本、布絵本）の整備、展示

点字付き絵本及び触る絵本の展示

(5) 電子書籍貸出サービスの整備

貸出用読書端末の展示貸出（タブレット5台 小型読書器12台）貸出件数：1件

2. 点字図書等に関する各種サービスの提供

(1) 広報誌「センター通信」の発行（年6回）

点字版376部、音声版979部

(2) レファレンスサービス（図書の検索・紹介、資料の提供等）

年間受付 509件（図書：330件、IT：43件、その他：136件）

(3) プライベートサービス（視覚障がい者が必要とする資料の点字化・録音化、その他）

点訳 20件、音訳 7件

(4) 対面朗読サービス（視覚障がい者が必要とする資料の対面読み上げ）1件

3. 情報通信技術に対する対応支援

(1) デイジー再生機の取扱い説明、機器の貸出し

プレクストークの貸出し及び貸出時等の取扱い説明（17件）

(2) 情報通信技術に関する活用体験会の開催及び相談援助（218回）

(3) 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の利用説明及び登録利用の支援（5名）

4. 日常生活用具等の利用促進

センターの備品として新たに日常生活用具、補装具や便利グッズを購入し、館内で展示コーナーを設置しました。所蔵する用具について毎回センター通信で紹介文を掲載し、利用者にも周知しています。また、センターの廊下にピックアップコーナーをつくり、分類別の用具を月替わりで展示するなど、来館者の目に付きやすくなるような工夫をしています。

5. 点訳奉仕者及び音訳奉仕者の養成研修の実施

- (1) 点訳奉仕者の養成講習会（年24回 参加者のべ185名 修了者 9名）
- (2) 音訳奉仕者の養成講習会（年24回 参加者のべ79名 修了者 3名）
- (3) 点訳・音訳奉仕員の認証（点訳2名、音訳7名）
- (4) 点訳・音訳奉仕者の研修及び活動の支援

① ボランティアがグループで定期的な研修を行っており、職員はその活動の支援を行ったり、ボランティアからの個別の相談等にも随時対応している。

点訳・・・ 花水木の会（第2火曜日）

対面校正（毎週火曜日・金曜日）

音訳・・・ くすのきの会（第1・第3木曜日）

サザエさんの会（第2木曜日）

ひまわりの会（第4木曜日）

② あいさが点訳音訳友の会の研修及び活動の支援

点訳・・・ 友の会主催の講習会（外部講師）の実施支援（2月 参加者36名）

音訳・・・ 友の会主催の講習会（外部講師）の実施支援（2月 参加者40名）

6. 交流・啓発事業

交流スペースや研修室を活用し、利用者を対象とした「サロン」を毎月開催しました。防災や盲導犬についての講座や、ゆび編みやヨガなどの体験、また交流を主目的とした茶話会、点訳音訳ボランティアとの懇談会などの内容で、利用者から好評をいただきました。11月には「あいさが あすなろフェスタ」を開催し、点字体験、就労継続支援事業所の販売ブースの設置、日本点字図書館わくわく用具ショップの職員による講演と販売、バンド演奏、県内事業者による日常生活用具等の展示相談、白杖のデコレーション体験などを行いました。参加者はのべ206名となり、利用者や家族、関係者のほか一般の方々も多数来場されました。

7. 相談支援事業

新たに相談支援担当の職員を一名配置したほか、業務の一部をたかだ電動機株式会社に委託し、相談等に対応する職員を最大6名派遣されています。来館や電話などの相談に随時対応しており、相談内容は障害のことや学習、就労、ICT等多岐にわたります。当事者のみならず、家族や支援者からの相談にも対応しています。支援についてのチラシを作成配布したり、広報誌センター通信に相談窓口からのお知らせを掲載するなどして情報提供を行っています。また、スマートサイト研修会を年間2回（9月、3月）開催しました。当事者団体、医療機関、行政機関、事業者、支援団体などに参加いただき、情報収集、情報共有の有意義な機会となりました。

8. ICT等を活用したコミュニケーション支援

相談支援担当を始めとした職員が電話及び来館でのICTに関する相談に随時対応しました。職員は情報化対応支援者研修などに参加し、ICTに関する知識の習得に努めたほか、タ

タブレットや最新機種スマートフォン、携帯用小型読書器を展示し、利用者や関係者が端末に触ったり体験ができるような環境を整備しました。

また、サロンでICTの活用・体験をテーマとした講座を開催しました。31名の方に参加していただき、好評をいただきました。

9. 利用拡大プロジェクト

新たな利用対象者等へ向けて音声版の利用案内及び施設のPR動画を作成し、ホームページ等に掲載しました。また、市役所及び町役場や地域包括支援センター、眼科医会、病院関係などに啓発活動を行うことで、センターのサービスの周知を図りました。公立図書館へも啓発を行ったほか、読書バリアフリーコーナー用の備品及びマルチメディアデージー図書などを公立図書館へ貸し出すサービスを開始しました。月に一度の「サロン」ではICT活用体験や盲導犬とのふれあい、ゆび編みやヨガ、ボードゲーム体験など利用者の日常生活に関わる講座を開催しました。

10. その他の事業

センターホームページの定期的なリニューアル更新のほか、SNSアカウントから情報の提供を行い、利用者への情報発信及びボランティアへの情報発信を行いました。また、防災グッズの展示のほか、視覚障害者等へ向け防災をテーマとしたサロンを開催するなどして、災害に関する情報支援を行いました。10月の防災訓練においては、希望する利用者と支援者に参加していただき、改めて利用者が避難する際の注意点などを確認しました。

11. たかだ電動機株式会社へ委託する業務

(1) 補装具・日常生活用具等の給付申請の支援

「補装具・日常生活用具」の相談者(177名)には、センター内に展示している物品に関しては実際に使用いただき、購入先や購入時の金額をお伝えしました。申請する希望のある方には、メガネのヨネザワや日本点字図書館等、指定販売業者を紹介し、自分で連絡するのが難しい方には連絡の代行を行いました。

(2) 日常生活用具等の情報提供・使い方の支援

展示用の日常生活用具等の選定及び購入 119個(内訳:白杖9、眼鏡8、ルーペ14、音声機器12、ICT機器2、文書読み上げレコーダー1、ロービジョン筆記用具13、音声・触知式時計11、日用品13、おもちゃ・絵本12、調理器具8、防災関連4、マルチメディアデージー4、点字器2、その他(車椅子等)8)。

用具の目録及びデータカード(用具の説明・購入先・購入金額等)の作成

(3) 交流・啓発イベントの開催

(4) 交流スペース等を活用した利用者及び関係者の交流支援

交流啓発サロンの開催 (年11回 参加者のべ230名)

「あいさが あすなろフェスタ」の企画開催 11月23日 参加者のべ206名
参加団体: さがすたいる、あいさが音訳点訳友の会、メガネのヨネザワ、システムギアビジョン、日本点字図書館わくわく用具ショップ、株式会社シグマ、collet、佐賀農

業高校オカリナ部、じじっか、佐賀県立盲学校、佐賀県視覚障害者団体連合会、B型事業所 ohana、ひびき、A型事業所ボルガ（順不同）

スマートサイト研修会の開催

第一回 9月26日（火） 参加者15名

第二回 3月16日（土） 参加者25名

(5) 相談対応補助

相談支援対応 のべ1,383名

(1) 対応方法

来館166件、電話1,187件、訪問3件、メール25件

※「訪問」は巡回貸出に相談支援員が同行して対応

(2) 相談者について

相談者の属性：視覚障害等当事者829件、家族28件、行政機関135件、福祉・介護等支援機関370件、その他21件

障害種別：視覚障害883件、精神障害10件

年代：10代10件、20代44件、30代22件、40代63件、50代22件、60代248件、70代150件、80歳以上79件、不明24件

性別：男性342件、女性591件、不明3件

(3) 相談内容

補装具・日常生活用具177件、視覚リハ（訓練事業への相談）126件、仕事55件、余暇137件、ICT217件、生活情報251件、サービス利用・制度178件、健康・病院5件、園・学校16件、不安・気持ちの整理132件、その他50件

(4) 相談経路

機関からの紹介225件、知人からの紹介8件、チラシ10件、メディア広報1件、その他34件（具体的な紹介元：あいさが関係者より2件、「知人からの紹介」19件、病院からの紹介6件、盲学校3件、行政等機関22件、福祉関係8件等）

(5) 連携先 のべ153件（内訳：支援施設関係54件、病院関係4件、行政関係12件ほか）

(6) 相談時間帯

午前177件 午後237件

(6) 支援に必要な情報の収集及び関係者間の情報共有ネットワークの形成

(7) 関係機関を通じて利用対象者へセンターのサービス等をPR

令和5年度は、啓発として242か所へ訪問して啓発活動を行いました。（内訳：市町役場27件、地域包括支援センター34件、病院関係56件、公共図書館43件、あすなろフェスタチラシ配布先82件）

(8) ICT等の活用をテーマとした講座の開催

サロン内での当事者向け iPhone 基礎講座を開催しました。

当事者向け iPhone 基礎講座では、当事者や家族、支援者の31名の参加があり、自身

の iPhone を持参して操作練習された方や、まったく触ったことがない方にはセンターの iPad を貸出しして、ボイスオーバー操作の実演と練習を行いました。iPhone の基本的な知識、音声の操作方法を説明し、実際の機種を操作して練習しました。日頃使われている方へ向けて、絵文字の使い方のレクチャーも行いました。

(9) センターホームページの定期的な更新及び SNS を活用した情報発信

ホームページにサロンの開催予定を載せるなどして、定期的な情報発信を行ったほか、センターホームページにリンクさせ、今年度は行事案内を Facebook で 4 5 回発信しました。

(10) 視覚障害者等へ災害時の行政サービス及び情報提供に対する支援

災害時の備えを進めるため、佐賀県防災士会に協力を依頼し、交流サロンで「防災について考えよう。災害がおきてもあたたかい非常食」を実施しました。今回はアルファ化米を、実際にお湯を入れて作って食べる体験を行い、その他の非常食の紹介もしていただきました。

また、久留米市の心眼は一とあいず主催の、備えあいフェスタ（見えない、見えにくい人の視点からも考える防災講座）にも、協力団体として、発信の協力や現地に手伝い等で参加しました。

II. センターの利用に関する業務

1. 利用者の登録、サピエへの登録支援

利用登録者数：400名（4年度387名）、新規登録 17名

サピエ登録者：149名（4年度144名）、新規登録 5名

2. 図書の貸出・閲覧サービス

(1) 点訳図書・テープ図書・CD図書の貸出し（カッコ内は4年度）

単位：タイトル

	点訳図書	テープ図書	CD図書	MMD
巡回	221 (187)	12 (11)	1,412 (1,481)	0 (0)
郵送	758 (777)	37 (129)	9,236 (9,872)	29 (64)
館内	18 (19)	0 (22)	323 (542)	0 (0)
相互貸借	138 (95)	12 (15)	978 (1,007)	0 (0)
その他	85 (85)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	1,220 (1,163)	61 (177)	11,949 (12,902)	29 (64)

※MMD…マルチメディアページ

(参考) 令和5年度サピエ登録利用者のデータのダウンロード集計（カッコ内は4年度）

データ種別	実利用者数	のべ利用者数	ダウンロードタイトル数
点字	20人 (32人)	2,276人 (4,607人)	2,029タイトル (3,915タイトル)

デイジー	86人(86人)	26,082人(30,961人)	9,288タイトル(8,924タイトル)
	再生実利用者数	再生のべ利用者数	再生タイトル数
	42人(44人)	4,194人(5,649人)	2,478タイトル(3,091タイトル)
MMD	12人(9人)	32人(73人)	18タイトル(42タイトル)

(2) 巡回貸出サービス（カッコ内は4年度）

県下4地区に分け年間48回 月平均 合計 29人(28人) /月

Aコース：鹿島市、小城市、杵島郡、嬉野市、多久市方面 6人(8人) /月

Bコース：唐津市方面 9人(5人) /月

Cコース：佐賀市方面 10人(11人) /月

Dコース：伊万里市、西松浦郡、武雄市、杵島郡方面 4人(4人) /月

3. 公共図書館との連携貸出サービス

公共図書館から貸出及び利用登録に関する相談 1件

連携貸出サービスの実施 2件（嬉野市、鳥栖市）

III. センターの維持及び管理に関する業務

1. 施設及び備品等の維持及び修繕
2. 清掃業務：日常清掃
3. 委託業務

種別	業務内容	業者	委託料
清掃業務	特別清掃（年1回） 床のワックスがけ 窓ガラス清掃	(有) オークス	104,500円
	屋外の除草（年1回）	佐賀市 シルバー人材センター	29,287円
警備業務	機械警備等による施設内の防 火、防災、防犯対策	ALSOK佐賀（株）	247,500円

4. 事業計画及び事業報告書の作成

令和5年9月末日までに次年度事業計画書及び収支予算書を作成し県に提出。

事業年度終了後1ヶ月以内に、事業報告書を作成し県に提出。

5. 防災訓練（10月19日）：火災を想定した通報・避難訓練（参加者：職員9名、利用者2名）

(1月18日)：大雨による浸水を想定した避難訓練(参加者：職員10名)

IV. センターの運営

1. 情報・交流センター運営委員会：運営委員会を2回開催し、意見交換を行いました。
第1回 令和5年9月22日(金) 出席者7名
第2回 令和6年3月29日(金) 出席者9名
2. センターのつどい(11月)：「あいさが あすなろフェスタ」の名称で11月23日に開催しました。点字図書や録音図書の紹介のほか、日本点字図書館用具担当職員の方の講演、バンド演奏、県内事業者によるスマートホーム体験、日常生活用具の展示相談、就労継続施設の販売ブースなどがありました。(参加者のべ206名)
3. 利用者満足度に関するアンケート調査(12月～1月)
巡回貸出サービスにおける聞き取り調査、及び電話による聞き取り調査を100名の利用者に対して実施しました。集計結果は「センター通信」4月号に添付して、利用者提供しています。
4. 地域社会・学校等への広報・啓発(点訳・音訳の指導、見学受入れ)
8月16日(水) 佐賀県庁インターン生見学受入れ(3名)
8月22日(火)・23日(水) 清和中学校職場体験受け入れ(2名)
8月30日(水) 福岡視覚特別支援学校見学受入れ(2名)
10月26日(木) 伊万里市民図書館見学受入れ(5名)
11月9日(木) 長光園障害者総合相談センター見学受入れ(27名)

V. 各種研修会・大会等への参加

1. 全視情協総会及び施設・団体長研修会(大阪市、6月) 1名参加
2. 九州視覚障害者情報提供施設大会(長崎市、9月) 6名参加
3. 全国視覚障害者情報提供施設大会(山形市、10月) 1名参加
4. 点字指導員資格認定講習会(オンライン、8月) 1名参加
5. 点字指導員資格認定試験(東京都、9月) 1名受験
6. 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」研修会(オンライン、7月) 3名参加
7. 九州視覚障害者情報提供施設協議会職員研修会(オンライン、8月) 2名参加
8. 日盲社協 情報化対応支援者研修会 情報機器コース(東京都、12月) 1名参加
9. 同行援護従業者養成研修 応用課程(佐賀市、1月) 1名参加
10. 内部研修 「カウンセリングについて」 講師：西南学院大学准教授・細川美幸氏
4名参加

VI. その他

1. 視覚障がい者への施設の提供(佐賀県視覚連の会議及び社会参加推進事業、クラブ活動等)
2. 視覚障がい者支援組織・団体との連携

令和5年度事業に関する自己評価

令和5年度12月から1月に実施した利用者満足度調査の集計結果において、貸し出しサービス及び日頃の職員の対応の満足度は、それぞれ80パーセントを越えており、日頃の職員の対応については、「満足」が90.8パーセントと高い評価を得ることができた。一方、調査で寄せられた意見や要望については、個別具体的な対応も含めて、今後ともより一層の工夫を重ねていきたい。(別紙「令和5年度利用者アンケート集計表」参照)

今日、視覚障害者を取り巻く情報環境のデジタル化は更に加速しており、職員は新たな情報機器の操作についての情報収集や技術の習得に努めてきた。情報機器に関する利用者からの相談対応や 아이폰の操作体験講座の開催など、利活用に対する支援を随時行っている。日常生活用具や補装具についてはセンターでの常設展示、ピックアップコーナーの設置、広報誌センター通信での定期的な記事掲載を行い、利用者や関係者に体験や情報提供の機会を供した。

また、サピエ会員登録についての相談支援や手続き代行、新規の利用者にデジ図書の専用再生機を貸し出すなどして、技術の進展に沿った支援を行ってきた。

情報化対応などの利用者のニーズに応えるため、研修会や大会に積極的に参加したほか、内部研修などを行い職員の資質の向上を図った。利用者や支援者からの一千件超の相談対応のほか、11月開催の「あいさがあすなるフェスタ」では用具の販売代理店や就労継続事業所、ICT事業者等に協力いただくことで、利用者だけではなく一般からも多数の来場者を得て、利用拡大や交流・啓発の大きな機会となった。

これらのほか月一回のテーマ別のサロンの開催、行政機関や支援機関、医療機関への啓発を積極的に行い、来館者は前年度の勢いを保持し微増した。

図書の貸出では、テープ図書の利用者がCDに移行するなどして減少が見られたものの、点字図書は巡回貸出や相互貸借の増加などにより微増となった。CD図書、マルチメディアデジ図書については、サーバーメンテナンスによる貸出、リクエスト停止期間の影響などもあり、微減となった。また、サピエ登録者は前年から5名増加し149名、インターネットを介しての点字データおよびデジデータのダウンロード数については、マルチメディアデジデータの実利用者数が約三割の増加となった。

これらもふまえて、事業実績において、80パーセント以上の自己評価を行うことが可能であると考える。

令和5年度は、佐賀県立視覚障害者情報・交流センターへ名称変更、リニューアルオープンから2年目となり、昨年度からの取り組みを継続し、更なる発展を目指す年となった。前年度の経験から、利用者からも様々な意見や提案をいただき、それらをサロンや交流イベントに活かすことで、より利用者が足を運びやすい環境づくりを図り、また日々のリクエスト及び相談などを通して、様々なニーズに耳を傾けるなど利用者との緊密な関係を維持し深めてきた。今後とも、利用者の様々な意見や要望を反映しつつ利用者の満足度を上げながら、新たなニーズと時代に即応した情報提供施設を目指していきたい。

【令和5年度 利用者アンケート集計表】

(%は回答数による割合)

集計数 100 名

質問																回答数	回答率								
1	回答者の年齢	A 20歳未満		B 20歳代		C 30歳代		D 40歳代		E 50歳代		F 60歳代		G 70歳代		H 80歳以上		100	100%						
		1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%	8	8.0%	10	10.0%	24	24.0%	37	37.0%	18	18.0%								
2	センターの利用状況	A 利用している		B 登録のみで利用したことがない		C 以前利用していたが、最近利用していない																100	100%		
		88	88%	2	2%	10	10%																		
3-1	利用方法（複数回答）	A 郵送貸出		B 巡回貸出		C 来館貸出		D インターネット																128	
		58	45.3%	34	26.6%	8	6.3%	28	21.9%																
3-2	利用図書(複数回答)	A 点字図書		B 音訳図書(カセット)		C 音訳図書(デイジー)																105			
		20	19%	4	4%	81	77%																		
4	利用したことがない理由	A 自宅等からセンターが遠い		B 自身が望むサービスがない		C その他																2	2%		
		1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%																		
5	最近利用していない理由	A サービスの使い勝手がよくない		B 自身が望むサービスがない		C その他																10	10%		
		0	0.0%	0	0.0%	10	100.0%																		
質問		A 満足		B やや満足		C やや不満		D 不満																回答数	回答率
6	貸出サービスについて	62	80.5%	15	19.5%	0	0.0%	0	0.0%															77	77%
7	図書館通信や九視情協新刊案内等について	68	79.1%	17	19.8%	1	1.2%	0	0.0%															86	86%
8	職員の対応について	89	90.8%	8	8.2%	1	1.0%	0	0.0%															98	98%
9	その他															44	44%								